

コミュニティ

なるお



○発行日
2025. 11. 1

○発行責任
鳴尾連合自治会

○編集
コミュニティなるお
編集委員会

TEL. 47-0101

わがまちあひだいのあひだ

40年の歩みを地域とともに

西宮市民生委員・児童委員会

会長 貴山好江さん



貴山好江さんは、昭和60(1985)年に高須地区の民生委員・児童委員に就任以来40年にわたり、地域福祉活動を支えてきました。令和4年12月から西宮市民生委員・児童委員会の会長を務めています。

今年11月末で、会長の任期を終えますが、その献身的な活動が認められ、今春には「瑞宝双光章」を受章しました。

活動を始めたきっかけ

貴山さんがこの活動を始めたのは、長女の小学校入学を機に高須の地に転居してきたことがきっかけでした。

「そこで、夫の知人で鳴尾東校区の民生委員・児童委員をされていた方と出会い、民生委員・児童委員の就任の依頼がありました。最初は断りましたが、自治会長や夫の『応援するから』という後押しもあり、前任者の残任期間だけ引き受けることにしました。それが気付けば40年にわたり、地域での福祉活動に携わることになりました」と振り返りました。

地域への思い

活動を通して多くのひと



市民祭り民児協ブースで



令和7年度 西宮市民生委員・児童委員会総会であいさつする貴山さん

出会い、さらに福祉や地域への思いは大きく膨らんでいきました。「自分たちがつくり、守ってきた街」という誇りを大切にしながら、誰もが元気に暮らせる鳴尾地域を願い続けてきました。

街は世代交代によって変

わっていくものだという思いと同時に、これまでこの街を築き支えてきた高齢者の皆さんへの敬意も忘れずにいたい。そして、「明日はわが身」という気持ちを持ちながら、地域みんなで支え合える優しいまちであってほしいと考えています。

また民生委員・児童委員として高齢者だけでなく、子どもや障がいのある人も安心して暮らせる「共生のまちづくり」を市・社会福祉協議会とともに進めてきました。

誰もが安心して暮らせる地域をつくるのが、貴山さんの一貫した信念です。

瑞宝双光章の受章

今春、長年の活動が認められ、「瑞宝双光章」を受章しました。

5月7日には兵庫県での伝達式で知事から勲章と賞状を授与され、5月28日には厚生労働省での伝達式に出席。その後、皇居・豊明殿で天皇陛下の拝謁を受けるという大きな栄誉に浴しました。

受章にあたり、「この受章は地域の皆さまと一緒に成し

瑞宝双光章の勲章と表彰状



公共的な職務に長年にわたり尽力し、功績を積み重ねた人に授与されます

遂げたものです」と、これまで共に活動してきた仲間や地域の皆さんに心からの感謝を伝え、これからも地域活動に尽力する決意を新たにしています。

任期を終えて、これから

今年11月末で会長としての任期を終える貴山さん。地域に向けた思いは変わりませんが、「任期が終わることは一区切りですが、これからも地域活動は続けていきたい」と語り、自分の力を地域に役立てていく決意を示しています。

「地域の皆さまに支えられたことが、私の活動の原動力でした。この街がこれからも笑顔と温かさに包まれた場所であり続けることを願っています」と、穏やかな笑顔で話していました。

臨港線との交差点と笠屋歩道橋



前号の最後に紹介した国道43号を渡ると、小曽根線はさらに南へと延びます。武庫川女子大学のエリアを過ぎると、ほどなく鳴尾地域南部を東西に貫く幹線道路・臨港線と交差します。この交差点も交通量が多く、歩行者の安全確保のため立体化され、笠屋歩道橋が設置されています。

鳴尾の一本道 小曽根線 (後編)

鳴尾川に流れ込む鳴尾新川に架かる上田橋あたりでは、大きなコイやナマズの姿を見ることが出来ます。

上田橋と次の中川橋の北側一帯は、鳴尾東小学校と鳴尾東幼稚園の敷地です。鳴尾東小学校は昭和11(1936)年の創立で、当時周辺は一面のイチゴ畑でした。校舎が海



原に浮かぶ軍艦のように見えたことから「軍艦学校」と呼ばれていました。

軍艦学校と称された創立当時の鳴尾東小学校の校舎 →



現在の鳴尾東小学校校舎

小曽根線は、緑豊かな上田西公園と鳴尾南中学校前の通りと斜め十字に交差します。東側は武庫川堤の手前の阪

神武庫川線・武庫川団地駅前に至り、ここから南は高須地区となります。高須町は小曽根線を挟んで1丁目と2丁目に分かれているため、歩行者が安全に移動できるよう小曽根線をまたぐ形で「にじのはし」が架かっています。



高須町1丁目と2丁目を結ぶ「にじのはし」

東側(1丁目)には商業施設・メルカード武庫川、西側(2丁目)には赤胴車がある広場があり、地域のコミュニティースペースとなっています。この南側には高須市民センターがあり、鳴尾支所・高須分室や高須児童センター、高須公民館が併設され、武庫川団地の心臓部を担っています。美しく高層で機能的なUR

武庫川団地が続き、戦前から美しく高層で機能的なUR



西宮南高等学校前が小曽根線の終点

の旧堤防の手前にある西宮南高校前で小曽根線は終点を迎えます。

「赤胴車がある広場」の赤胴車
小曽根線を挟んで向こう側に1号棟

医療法人信和会 明和病院

〒663-8186 兵庫県西宮市上鳴尾町 4-31
TEL 0798-47-1767(代表)
0570-0-89470(患者さん専用)
ホームページ <https://www.meiwa-hospital.com>

親切で信頼される病院を目指します



めいわりハビリテーション病院 /
明和がんセンター /
エレガノ西宮めいわクリニック /
訪問看護センター明和 / 居宅
介護支援事業所 併設

●診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腫瘍内科 腫瘍精神科 腎臓内科
人工透析 内科 呼吸器内科 外科 消化器外科 小児外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 肛門外科 ベイックリニック外科
整形外科 リハビリテーション科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 小児科 耳鼻いんこう科 眼科 産婦人科 放射線科 麻酔科
臨床検査科 病理診断科 救急科 歯科 歯科口腔外科

いいね！鳴るほどザットピックス
LINE 明和病院 始めました
公式アカウント
友だち募集中心!!



鳴尾工場で生産された戦闘機「紫電改」



は、高須にあった川西航空機で戦闘機「紫電改」を製造していたためです。6月

鳴尾の戦争と平和の物語
高須の地は昭和5年12月、川西航空機の進出によって大きく変貌していきます。戦後80年を迎えた今、鳴尾地域を振り返ると、昭和20年に米軍機による空襲を8度受け、8月6日未明にはボーイングB 29 大型爆撃機130機による甚大な被害を受けたの



旧堤防までが高須地区

この不幸な時代を経て、戦後の鳴尾の復活は高須地区から始まります。川西航空機は「明和自動車」と改称し、その後「旭工業」となりました。そして平和産業に取り組み、昭和32年には小型の三輪トラック「ミゼット号」を発表し、小曽根線か

9日の空襲で工場はすでに生産能力を失っていました。各地に未完成の戦闘機が隠されていたからだと伝えられています。甲子園七番町の西畑地区にあった文化村や野球塔も、この時の焼夷弾攻撃で一夜にして焼失しました。



戦後、旭工業のミゼットの生産現場



ら全国へと出荷されていきました。戦闘機開発に情熱を注いだ技術者たちの力は、やがて遠くアメリカ本土でのコンパクトカー時代を先取りする道を切り開いたのです。鳴尾で創業した旭工業はその後、ダイハツに吸収されて社名は消滅。ミゼット号も昭和46年に生産を終了しました。その跡地では昭和51年、大規模なUR高層住宅団地の

建設が始まり、昭和54年3月から入居が開始されました。これが武庫川団地の誕生です。明治期の大東新田開発からはやあし鳴尾速歩競馬場、大正期の日本で3番目に開設された鳴尾ゴルフ場、そして昭和の軍需産業の時代を経て——鳴尾の近代史そのものを支えてきたのが、小曽根線の姿なのです。

参考文献…「鳴尾村誌」

豊かな地域づくりのお手伝い。＜あましん＞

地域の文化・教育・環境など、元気な地域づくりに貢献します。



尼崎信用金庫

AMASHIN

<https://www.amashin.co.jp>

Facebook



Instagram



YouTube



鳴尾支店

〒663-8182 西宮市学文殿町1丁目10番18号
TEL(0798)47-6800 FAX(0798)48-1406

ちやうちんのやわらかな光、そして浴衣姿の子どもたちの最高の笑顔。
今年も、各地域でにぎやかに祭りが開催され、夏の思い出が刻まれました。
各地域で開催されたお祭りの様子を紹介します。1枚1枚の写真から、あの日の熱気と感動が伝わってきますように…。



7月6日

小曾根町子ども会
七夕祭り(白山姫神社)
願い事がかないますように!

素盞鳴(すさの)神社夏越祭
湯立て神楽は疫病退散・無病息災祈
願や五穀豊穡を願う神事です



7月15・16日



7月15・16日

素盞鳴神社の夏越祭に合わせて、中
津・南甲子園・九番町・浜甲子園の自
治会と神社の青年団が夜店を出店



7月19日

甲子園一番町夏まつり
大人も子供も一緒に盆踊りを楽しみ
ました



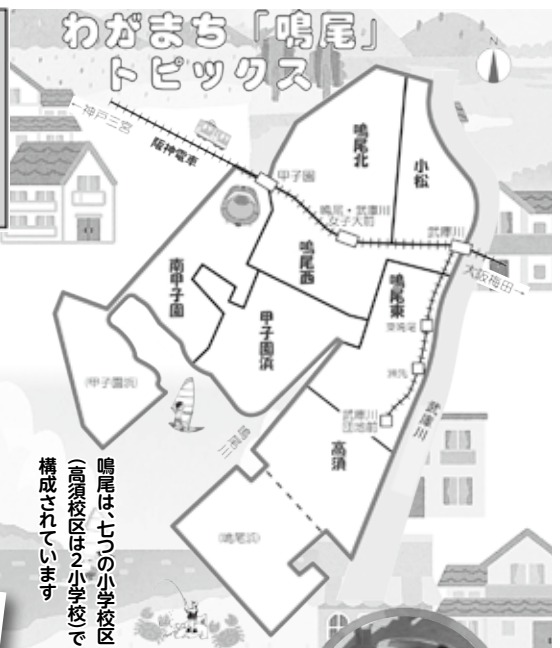
7月26日

鳴尾まつり
鳴尾小学校の校庭で、地域の人々が
輪になり踊る夏の盆踊り



7月26・27日

うえだ夏まつり
トンネルの向こうは夏まつり



鳴尾は、七つの小学校校
区(高須校区は2小学校)で
構成されています

若草町夏祭り
学文殿公園でスイカわり

7月19日



7月19日

甲四夏まつり
わっしょい！
地域に響く！
わっしょい！元気な声が

不用品処分 / デジタル遺品 / リユース / 生前整理 / 遺品整理 / 買取 / 家屋解体 など

不用品まるごと片付けサービス

☑ 作業は最短1日で完了!! ☑ 年間12,000件のご相談実績

整理・処分に関するあらゆるお悩み事を、経験豊富な専属スタッフが最適なご提案をいたします!

無料相談・無料見積り



作業前



作業後

お片付けの一例
※写真はイメージです

おかたづけの
プロ

リリース
Relief

株式会社 リリース
兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番26号

無料相談・無料見積りはこちら

0120-112-089

ホームページから
のお問合せはこちら





7月26・27日
はまこう夏まつり
団地中央広場の大きなやぐらの
周りは特別な場所



7月27日
小曾根町夏祭り
子どもたちも大活躍

だんじりを組み立てる
自治会の人たちには感謝!



7月26日
さとなか夏まつり
だんじりと子ども神輿(みこし)で町内を巡行



8月1～3日
高須フェスティバル
親・子・孫3代で参加
「楽しんでま〜す」



8月2日
甲子園二・三番町夏まつり
子ども会の出店で大にぎわい



ロイヤルアーク甲子園
フローレスなまつり
毎回好評!子どもたち主催
の出店



8月1日
甲子園番町会・夏の集い
目隠しの一振り、ドキドキの
瞬間!

上鳴尾町夏まつり
子ども神輿2基で
鳴尾八幡神社を一周



8月2・3日
西宮市制100周年を祝う
「うらほーと甲子園de盆踊り!」
たくさんの方が西宮の歴史を祝いました



8月16日
池開町花火大会
花火の輪、みんな
楽しむ夏休み



8月2日
こまつSC夏祭り
日よけシートが大活躍



8月23日
学文殿町サマーフェス
猛暑の中、学文公民館内で開催しました



8月23日
鳴尾八幡神社盆踊り、子安社祭
年々盛り上がる神社の盆踊り

一般のお客様大歓迎
業務スーパー



生鮮&業務スーパー **西宮鳴尾店**

営業時間 **9:00~21:00**

兵庫県西宮市小松西町1-2-6 ☎0798-45-2750



ボトルワールドOK西宮鳴尾店
LINE公式アカウント
ともだち募集中!
LINE ID @852hitbx



ボトルワールドOK関西エリア
Instagram



お得な情報盛り沢山!!

@BOTTLEWORLD_OK_KANSAI

戦後80年

鳴尾空襲の記憶

語り継ぐ平和への思い

◇ 高校生が継ぐ

「鳴尾村誌を読み戦争を語り継ぐ会」が、8月6日に学文公民館で開催されました。ここで、鳴尾高校放送部が制作した『継』が上映されました。



上映会の様子

『継』は、高校のすぐ近くにある本郷学文筋の橋に空襲の被弾痕が残っていることを知った放送部員たちが、この橋を足掛かりにして橋にまつわる話を取材し、戦争体験者や戦跡を残す活動を一つの映像作品にまとめたものです。今年のNHK杯全国高校放送コンテストで全国大会へ進み、

テレビドキュメント部門で入選しました。

作品の中で、空襲体験を話した女性の孫が「おばあちゃんの話聞くのはいいけど、おばあちゃんを傷つけることにならないか心配」と話す場面があります。その言葉に制作メンバーは「はっ」とし、「生半可な気持ちでは作れない」「何ができるのか」と悩み、揺れ動く気持ちが描かれています。



放送部員による朗読

橋は戦跡として形を残してても、「二度と戦争を起こさない」という思いをどう継いでいけばいいのか。それぞれの思いで伝えていければ」と映像は締めくくられています。また、会では放送部員2人による戦争体験記の朗読もありました。

りました。

◇ 語り継ぐ 小松町在住

樋口 仁三さん

8月10日発行の西宮市政ニュースの1面を見ました。小松町在住の樋口仁三さんの戦争体験の話が掲載され、その様子は西宮市公式YouTubeにも動画として公開されました。

樋口さんは今年95歳。15歳で終戦を迎えました。

多感な学生時代に学徒動員で工場での仕事に従事し、その間何度も空襲に遭いました。当時、今の小松小学校の南にB29を迎撃するための高射砲陣地があり、それを破壊する戦艦機体の攻撃がありました。その時、庭に掘った防空壕の中に逃げ込みましたが、様子をうかがうため顔を出した時、戦艦機のパイロットと目が合った気がしたそうです。この時の攻撃で、樋口さんの家も屋根を撃ち抜かれて穴が開き、鬼瓦の一部が撃ち落とされたそうです。

また、昭和20(1945)年の8月5日から6日の鳴尾空襲では、芦屋の方から雨のようなザーツという音を立てながら

がら焼夷弾が落下してきて、落ちた先で花火のようにパ



樋口仁三さん。西宮公式YouTubeチャンネル「小学校6年生で始まった戦争」より

アツと火が上がっていたそうです。そのうちに鳴尾にも火の手が上がりが始めたので、これはいけないと武庫川の土手に避難しました。避難する途中にも火の手が上がっていたそうです。

「若い人たちにも戦争について知っていただき、二度とこんなことが起こらないようにしてほしい」と、樋口さんは話しました。

空襲の被弾痕が残る本郷学文筋の橋



暗渠化で、この橋は学文殿公園に移設が決まりました。

KidZania
Koshien



こどもの
街



キッズニア甲子園公式LINE友だち 限定

トーク画面にキーワード

『宮っ子』と入力して

お得なクーポンをもらおう!

クーポン有効期限:2026年1月31日(土)まで

今すぐゲット! /



事にかつての
た結果、見
作業を行っ
忠実な復元
手掛かりに、
ゆる資料を
さらにあら
色や模様、
いた元の毛
側に残って
った体の下
っていないか



40年ぶりによみがえったジョニーに、会場から歓声

今後、レストハウスはリニューアルされ、公園事務所として再開予定です。ジョニーも常設展示されることになっていて、それまで、ジョニーは市役所第2庁舎1階に展示されます。

7月13日、鳴尾浜レストハウス「海の見える丘」で、はく製の修復と復元を終えたレオポン「ジョニー」のお披露目が開かれました。

ジョニーは長年、リゾ鳴尾浜で展示されていましたが、日焼けによって体色は薄れ、ヒョウ紋も消えかかっていたため、復元作業が必要でした。修復の際には日差しに当た

姿を取り戻しました。

お披露目は4回行われ、多くの家族が訪れ、幕を取る時、「わあー!!」と大きな歓声が上がりました。続く映像による説明の後、来場者はジョニーの下絵に彩色をして缶バッジを作りました。参加した親子は、「想像以上の迫力で感激しました」と興奮気味に話しました。

レオポン「ジョニー」の復元!! お披露目!!



レオポンは昭和34(1959)年、甲子園阪神パーク(平成15(2003)年閉園)でヒョウとライオンの間に2頭、同36年には3頭誕生しました。そのうち一番生き残った「ジョニー」は24歳で旅立ち、剥製となつて西宮市内のリゾ鳴尾浜(令和2年閉館)に展示されていました。

死後40年。剥製は破損や褐色化が進んだため、昨年11月から12月にかけて、修復・復元作業が行われ、今回のお披露目に至りました。

※レオポンについては、『宮っ子』鳴尾地域版・平成29(2017)年9/10月号・令和3年9/10月号にも詳しく掲載しています。Web版でも見るすることができます。

鳴尾地域 サークル活動めぐり⑩

楽しく踊って脳トしも!

～浜甲団地 民踊サークル～



はまこう夏まつり盆踊り



浜甲子園団地の歴史とともに、半世紀以上続いている浜甲団地民踊サークルです。西宮市民協協会に所属し、月2回は協会の指導員を招いて活動しています。

現在10人の仲間がいて、『民協音頭』『西宮音頭』『西宮小唄』『みやたん音頭』などの地元の踊りや全国各地の民踊を習い、稽古をしています。それぞれのペースで踊り、仲間とおしゃべりも楽しいひと時です。

活動内容は、5月に西宮市立中央体育館で「民踊のつどい」、7月に浜甲子園団地中央広場で「はまこう夏まつり」、10月にアミティー・ベイコムホールで「ふるさとの民踊発表会」、11月に浜甲子園団地中央広場で「まちなねピクニック」、地域の老人福祉施設へ数回訪問するなど、年に複数回発表の機会があります。

浜甲子園団地在住の人以外でも、年代・性別に関係なく参加できます。

浜甲団地民踊サークル会員募集!!

私たちと一緒に健康づくりしませんか?

笑顔いっぱい仲間が増えます!

練習日: 毎週木曜日 10~12時

場所: 浜甲団地内 中央集会所

会費: 月額1,000円(入会金1,000円)

問い合わせ先: 080-2487-3365 樋口



地域施設へボランティア活動

鳴尾地区5公民館の講座案内

【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がない場合は来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

	月	日	曜日	時 間	内 容	講 師	問い合わせ先
	11	13	木	13:30～15:30	「豊臣兄弟」～兄の秀吉を支えた名補佐役～ 定員：100人 当日受け付け	元西宮東高等学校教頭 霜澤 喜代子	鳴尾公民館 Tel47－3838
	11	27	木	13:30～15:30	「豊臣兄弟」～太閤の片腕として～ 定員：100人 当日受け付け	元西宮東高等学校教頭 霜澤 喜代子	
★	12	11	木	14:00～15:30	「絵手紙入門」～今年の年賀状は絵手紙にしませんか～ 定員：20人（先着順） 申し込み必要：11月27日（木）10:00～電話にて受け付け 1人2名まで申し込み可 材料費：300円（当日徴収） 水彩用の細筆と書道用の細筆と油性の細マジック持参 （※筆の販売あり。別途有料300円）	絵手紙作家 大畠 ひろ	
★	11	30	日	14:00～15:20	子ども・子育て講座 歌遊び・手遊び・人形劇 ーまた会えたね！ー 申し込み必要：11月20日（木）9:30～来館または電話にて受け付け 定員：60人（先着順） 対象：未就学児～小学生（保護者も参加可）	「おはなし・わくわく便」 代表 阪本 みずほ	学文公民館 Tel41－6050
	12	7	日	10:00～12:00	文化・芸術講座 第14回 わくわくコンサート 定員：80人 当日受け付け 対象：一般	鳴尾吹奏楽団アンサンブル ・マリンバアンサンブル ・フルートアンサンブル ・クラリネットアンサンブル	
	12	18	木	14:00～15:30	健康・福祉講座 「脳をまもろう」 ～脳出血、くも膜下出血、脳梗塞の予防や最新治療～ 定員：40人 当日受け付け 対象：一般	西宮協立脳神経外科病院 院長 辻 雅夫	
	11	18	火	14:00～15:30	医療・健康講座 「冬に備える薬膳～冷え・乾燥から体を守る食べ方」 定員：50人 当日受け付け	ジン医院 漢方医 松沢 祥子	高須公民館 Tel49－1312
	12	14	日	13:30～15:00	クリスマスコンサート in TAKASU 実施場所：鳴尾南中学校体育館 定員：200人 当日受け付け	鳴尾南中学校吹奏楽部 高須中学校吹奏楽部 武庫川女子大学吹奏楽部	
	1	8	木	14:00～15:30	大河ドラマ 歴史講座 「豊臣兄弟 第1回」(第2回1月31日) 定員：50人 当日受け付け	元西宮東高等学校教頭 霜澤 喜代子	

【地域医療講座】講師：明和病院医師など（明和病院の協力を得て開催している講座です）

	12	17	水	14:00～15:30	健康講座「介護の話」 定員：60人 当日受け付け 対象：一般	訪問看護センター明和 中島 淳美(看護師長) 有賀 保博 嶋田 真由美	鳴尾東公民館 Tel49－1300
--	----	----	---	-------------	--------------------------------------	--	----------------------

なるお会館からのお知らせ

「クリスマスジャズコンサート」

開催日：12月21日(日)

時間：午後2時開演
(午後1時半開場)

出演：ロイヤルフラッシュ
ジャズバンド

会場：なるお会館3階集会室

定員：100人(入場無料)

申込：11月30日(日)必着

申し込み方法

往復はがきに住所、氏名、電話番号、申し込み人数(2人まで)を記入して、

〒663-8184

西宮市鳴尾町3丁目8-7

なるお会館まで

応募多数の場合は、抽選の上

12月7日までに返信します。

往復はがき以外の申し込みは、

すべて抽選対象外になります。

問い合わせ

なるお会館

電話 0798-468200

祝日を除く火、金曜日、9～16時

(電話・来館申し込みはできません)

主催 公益財団法人 鳴尾会



阪急の家族葬

エテルノ鳴尾武庫川

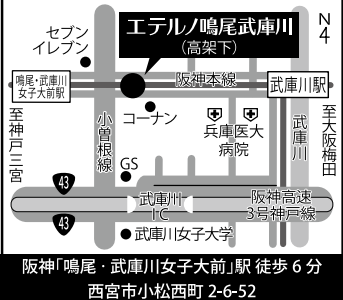
P15台 安置室あり 高架下でも静かで快適

0120-01-3242

エテルノ 阪急

検索

阪急阪神東宝グループ 株式会社阪急メディアックス



エテルノ鳴尾武庫川 (高架下)

阪神本線 武庫川駅

至大塚梅田

阪神「鳴尾・武庫川女子大前」駅 徒歩6分

西宮市小松西町 2-6-52